

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月17日

事業所名:重心児デイサービスエンゼル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ベットやマットの配置を考慮し、スタッフの動線を確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		急な職員の休みがあっても、利用児の安全を第一に体制を変えて対応している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		ワンフロア、玄関にスロープがあり、移動に不自由さがないような構造になっている。	床はバリアフリーになっておりバギー等でもスムーズに移動できる。浴室、洗面、トイレの配慮を工夫していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		感染係が積極的に環境整備について関わっている。毎日環境整備を行っている。	今後も試行錯誤していきたいと思う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		PDCAサイクルを行ってはいないが、目標をたてて振り返っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		内容を職員で共有し、改善できるように話し合いを行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	公開療育を行っている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		ご利用になる呼吸器について学習会を行ったりWOCナースによる褥瘡ケアの学習の機会がある。	研修の要項等、提示している。今後も積極的に研修の機会を作っていくたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		ミーティングでモニタリングし、日々の計画へ反映する努力を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		対象児には遠城寺式発達評価等を使用しているが、うまくあてはまらない方には他のアセスメントツールも検討していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		日々のケア項目、計画を確認しながら、実践している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		療育チームをつくり、話し合いプログラム検討をしている。療育係があり、年間計画に基づき、週の活動内容を立案して療育が行えている。利用児の興味や機能、安全を考慮立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事などを取り入れ、固定化しないようにしている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		体調に合わせて個別・集団をその日の状況で分けている。	児によってケア内容が異なるため集団活動が難しい時があるが、発達状況に応じた個別・集団活動をしていきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングで療育内容や担当の確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	なるべくその日の利用児について報告、改善を話し合うようにしている。	職員全員へ情報共有できるように工夫していきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録をリーダーが確認し支援内容について振り返る機会がある。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		利用児の誕生日月、半年にモニタリングを行い計画の見直しをしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者、担当ナース、PTが参画するようにしている。	児発管だけでなく、担当スタッフも参加できるようにしていきたい。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要時は各部署と連携出来ている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		ご利用されている学校、訪問看護師、医師から必要な情報は共有している。	必要に応じて、その都度電話などで情報の共有をしている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		訪問看護ステーションとの情報共有や往診医との共有を行っている	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートの作成を行い、理解を図っている。今後、ご利用される幼稚園、保育園の保育士、看護師へ注意点、観察点など伝えスムーズに移行できるよう努めている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートの作成を行い、理解を図っている	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	他事業所との共有がはかれるような記録用紙を使用している	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の子と交流できるようなイベントを今後企画していく。そのような機会をつくっていききたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		地域の子と交流できるようなイベントを今後企画していく。イベント等で地域の子ども達とも関わられるようにしていく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時に日々の状況等を伝え理解を深めている	
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者の状況に合わせた支援案が提案できるよう考えていきたい。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時に書面と口答での説明を行っている	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談がある際は、他のスタッフとも話し合い保護者へお伝えしている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の関わる場をつくれたらと思う。父母の会がないので、イベントを企画し、保護者同士が関わる場を作っていきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者の申入れに対応できるようケア、送迎時間を調整している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回おたよりの発行を行い発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		写真、Instagram投稿の際、承諾を頂いている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日々の記録を写真を利用し伝えられている。送迎時や連絡帳等で情報共有出来るようにしている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	内覧会には地域住民の方も招待した。買い物活動では、近くのお店に事前に事業所の紹介をし、協力いただいた。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		適宜、施錠している。	定期的に見直しを行っていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難訓練を行っている	スタッフ全員で避難経路確認が出来ている。さまざまなシチュエーションを含めて訓練を行っていききたい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		フェイスシートを改善し、予防接種の記載部分を設けたり、薬の確認をしている。	発作や服薬等は変更時、提示してもらっている。フェイスシートでワクチンの確認もしていく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者と情報共有を行っている。対象者がいないが、保護者にアレルギーの有無を確認して対応できている。	対象者が幼少だとアレルギーが不明瞭な場合が多いが、その都度、保護者へ確認している。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットについてミーティングにてスタッフ間で共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員が研修を受け、スタッフに資料と共に伝達を行った。虐待について学習会を行った。日々のケアの中で安全のために必要なベルト固定など記録している。	実施できている。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		座位保持椅子、ストレッチャーへの移乗の際、手首バンドの使用の必要性を説明し記録している。	実施できている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)